

# 「Excel 専用ツール AMGSDataGetter.xlsm による利用」 に関する手順書

以下の動画を参考にしてください。

Excel 専用ツール AMGSDataGetter.xlsm による利用

[https://amu.rd.naro.go.jp/wiki\\_open/lib/exe/fetch.php?media=wiki:movie:amgsdsdatagetter\\_low264.mp4](https://amu.rd.naro.go.jp/wiki_open/lib/exe/fetch.php?media=wiki:movie:amgsdsdatagetter_low264.mp4)

## 1 ツールの配置

**0:00 ~ 0:20**

ダウンロードし、解凍した AMGSDataGetter.xlsm を準備します。Windows 環境で利用する場合は、**C:¥Users¥[Windows のアカウント名]のフォルダ以下に「amgsdatagetter\_oracle」フォルダを配置します。**

専用ツールが Onedrive 上にあると、フォルダのパスを認識できず、データが取得できません。

## 2 ツールの設定変更

**0:20 ~ 0:29**

「amgsdatagetter\_oracle」フォルダ内にある「AMGSDataGetter.xlsm」ファイルを右クリックし、「プロパティ」を選択します。セキュリティの項目にある「許可する」のチェックを入れることで、ツールを利用することができます。

## 3 ツールの起動及び実行

**0:29 ~ 0:39**

「AMGSDataGetter.xlsm」を開き、マクロが無効にされている場合は、画面上部の黄色い箇所にある「コンテンツの有効化」をクリックしてマクロを有効にします。この状態でツールを利用することができます。ツールの利用方法については、画面内に説明がありません。

## 4 データの取得

### 0:39 ~ 2:08

データ取得の際には認証が必要になります。「Get Data」ボタンを押すと、認証に必要な情報が表示されます。まず、「認証 URL」にある URL をマウスで選択し、「Ctl」+「c」ボタンでコピーします。

Web ブラウザを起動して、URL バーをクリックし、「Ctl」+「v」ボタンでペーストします。Oracle のログイン画面にアクセスするので、メールアドレス、パスワードを入力し、セキュアな検証を行い、ログインをします。

ログインに成功すると、デバイスコードを入力する画面に移動します。Excel の「AMGSDataGetter.xlsm」画面に表示されているデバイスコードを同様にコピー・ペーストして入力し、「Submit」ボタンを押します。

Excel の「AMGSDataGetter.xlsm」に戻り、「Close」ボタンを押します。認証が成功した場合、「アクセストークン取得成功」と表示されます。「OK」を押すと、データの取得が行われます。